

ADVERTISEMENT METHOD BY MAIL

Publication number: JP2002140272 (A)

Publication date: 2002-05-17

Inventor(s): HAYAKAWA TOMOHARU; FUKUSHIMA RIEKO

Applicant(s): DENSO CORP

Classification:

- **international:** G06Q30/00; G06F13/00; G06Q10/00; H04L12/54; H04L12/58; H04Q7/38;
G06Q30/00; G06F13/00; G06Q10/00; H04L12/54; H04L12/58; H04Q7/38; (IPC1-7): G06F13/00; G06F17/60; H04L12/54; H04L12/58; H04Q7/38

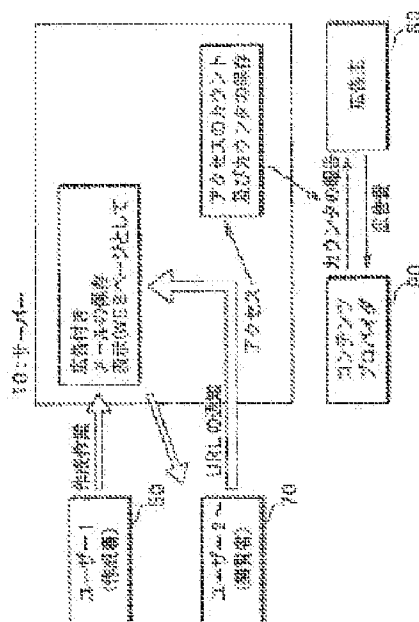
- **European:**

Application number: JP20000333289 20001031

Priority number(s): JP20000333289 20001031

Abstract of JP 2002140272 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an efficient advertisement method. **SOLUTION:** A user 1 forms and sends a mail by means of a cellular phone 50 and selects advertisement information to be attached to the mail so as to designate the selected advertisement information to a service providing server 10. The service providing server 10 informs a URL matching the mail to a personal computer 70 of a user 2. The user 2 designates the URL by means of the personal computer 70 for accessing the service providing server 10. The user 2 can view a mail with attached advertisement by means of the personal computer 70. The user 1 selects an advertisement image suitable for a viewer among the first - third advertisement information by means of the cellular phone 50, so that a good advertisement can be provided for the viewer.



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-140272
(P2002-140272A)

(43)公開日 平成14年5月17日(2002.5.17)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	デマコト* (参考)
G 0 6 F 13/00	6 2 5	G 0 6 F 13/00	6 2 5 5 K 0 3 0
17/60	3 2 4	17/60	3 2 4 5 K 0 6 7
	3 2 6		3 2 6
	3 3 0		3 3 0
	5 0 4		5 0 4

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-333289(P2000-333289)

(22)出願日 平成12年10月31日(2000.10.31)

(71)出願人 000004260

株式会社デンソー

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

(72)発明者 早川 友晴

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会
社デンソー内

(72)発明者 福嶋 理恵子

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会
社デンソー内

(74)代理人 100100022

弁理士 伊藤 洋二 (外2名)

Fターム(参考) 5K030 HA06 HB08 HC01 JT09 LD13

5K067 BB04 DD53 EE02 EE10 EE16

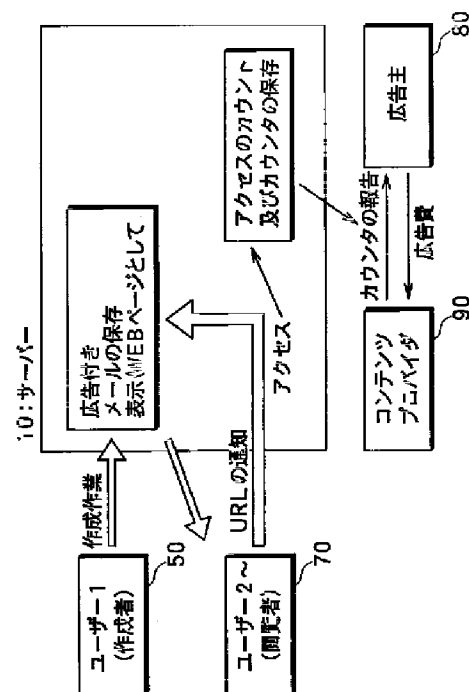
FF02 GG01 GG11 HH05 HH23

(54)【発明の名称】 メールによる広告方法

(57)【要約】

【課題】 良好な広告を行うことができる広告方法を提供する

【解決手段】 ユーザー1は、携帯電話50によって、メールを作成送信するとともに、メールに添付する広告情報を選択してその選択された広告情報をサービス提供サーバー10に指定する。サービス提供サーバー10は、当該メールに対応するURLをユーザー2のパーソナルコンピュータ70に通知する。ユーザー2は、パーソナルコンピュータ70によって、上記URLを指定してサービス提供サーバー10にアクセスする。ユーザー2は、パーソナルコンピュータ70にて、広告付画像付メールを閲覧できる。ユーザー1は、携帯電話50によって、第1〜第3に広告情報のうち閲覧者に適した広告画像を選択するため、閲覧者に、良好な広告を行うことができる



【特許請求の範囲】

【請求項1】 操作部(53)を有する通信端末(50)が、送信者による前記操作部への操作に応じて、複数の広告情報のうち1つを選択する選択ステップ(100、110、200)と、前記通信端末(50)が、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記選択された結果を示す選択情報とメールの送信内容と宛先とをサーバー(10)に送信する内容送信ステップ(120、130)と、前記サーバーが、前記選択情報と前記メールの送信内容と前記宛先とを受信し、前記選択された広告情報が付加された前記送信内容を前記メールとして前記宛先に送信する送信ステップ(260)と、を有することを特徴とするメールによる広告方法。

【請求項2】 操作部(53)を有する通信端末(50)が、送信者による前記操作部への操作に応じて、複数の広告情報のうち1つを選択する選択ステップ(100、110、200)と、前記通信端末(50)が、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記選択された結果を示す選択情報とメールの送信内容と宛先とをサーバー(10)に送信する内容送信ステップ(120、130)と、前記サーバーが、前記選択情報と前記メールの送信内容と前記宛先とを受信し、前記メールを受信した旨を前記宛先に通知する通知ステップ(230)と、前記宛先の通信端末が、前記メールを受信した旨の通知を受け、前記受信されたメールの閲覧を要求する閲覧要求信号を前記サーバーに送信する閲覧要求ステップ(400)と、前記サーバーが、前記閲覧要求信号を受信し、前記選択された広告情報が付加された前記送信内容を前記メールとして前記宛先に送信するとともに、前記閲覧要求信号の受信回数を計数する送信ステップ(250)とを有することを特徴とするメールによる広告方法。

【請求項3】 前記選択ステップは、前記通信端末が、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記複数の広告情報を要求する要求信号を前記サーバーに送信する要求ステップ(100)と、前記サーバーが前記要求信号を受信して、前記通信端末に前記複数の広告情報を送信する広告送信ステップ(200)とを有し、前記通信端末が、前記複数の広告情報を受信して、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記複数の広告情報のうち1つを選択することを特徴とする請求項1又は2に記載のメールによる広告方法。

【請求項4】 前記サーバーが、前記宛先を計数してこの宛先数に応じて広告費を前記広告情報の広告主に請求するとともに、前記宛先数に応じて特典を前記送信者に提供する提供ステップ(250、280～300)とを有することを特徴とする請求項1～3のいずれか1つに

記載のメールによる広告方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、メールによる広告方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば、フリーメールシステムにおいて、送信者がその通信端末にてメールをメールサーバーに送信し、メールサーバーは、送信者の通信端末からのメールに広告情報を付加して宛先の通信端末に送信するようにしたものがある。このものにおいて、宛先である受信者が、その通信端末で、受信されたメールの内容を閲覧する際に、付加された広告情報を閲覧することにより、広告情報が、受信者に対して広告を行うことになる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述したメールシステムでは、メールサーバーがランダムに広告情報を選択してメールに付加するため、受信者にとって不適当な広告情報が付加された際、受信者が、付加された広告情報を閲覧しない可能性がある。従って、広告情報としてはその目的を良好に果たすことができないことになる。

【0004】本発明は、上記点に鑑み、良好な広告を行うことができる広告方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明では、操作部(53)を有する通信端末(50)が、送信者による前記操作部への操作に応じて、複数の広告情報のうち1つを選択する選択ステップ(100、110、200)と、前記通信端末(50)が、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記選択された結果を示す選択情報とメールの送信内容と宛先とをサーバー(10)に送信する内容送信ステップ(120、130)と、前記サーバーが、前記選択情報と前記メールの送信内容と前記宛先とを受信し、前記選択された広告情報が付加された前記送信内容を前記メールとして前記宛先に送信する送信ステップ(260)とを有することを特徴とする。

【0006】これにより、送信者が、複数の広告情報のうち宛先である受信者に適した広告情報を選択することができるため、宛先である受信者に対して良好な広告を行うことができる。これに加えて、送信者は、上述の如く、広告情報を選択する際に、必然的に、広告情報を閲覧することになるため、送信者に対しても広告を行うことができる。

【0007】また、請求項2に記載の発明では、操作部(53)を有する通信端末(50)が、送信者による前記操作部への操作に応じて、複数の広告情報のうち1つを選択する選択ステップ(100、110、200)

と、前記通信端末(50)が、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記選択された結果を示す選択情報とメールの送信内容と宛先とをサーバー(10)に送信する内容送信ステップ(120、130)と、前記サーバーが、前記選択情報と前記メールの送信内容と前記宛先とを受信し、前記メールを受信した旨を前記宛先に通知する通知ステップ(230)と、前記宛先の通信端末が、前記メールを受信した旨の通知を受け、前記受信されたメールの閲覧を要求する閲覧要求信号を前記サーバーに送信する閲覧要求ステップ(400)と、前記サーバーが、前記閲覧要求信号を受信し、前記選択された広告情報が付加された前記送信内容を前記メールとして前記宛先に送信するとともに、前記閲覧要求信号の受信回数を計数する送信ステップ(250)とを有することを特徴とする。

【0008】これにより、送信者が、複数の広告情報のうち宛先である受信者に適した広告情報を選択することができるため、請求項1に記載の発明と同様に、宛先である受信者に対して良好な広告を行うことができる。さらに、サーバーが、前記閲覧要求信号の受信回数を計数するため、この受信回数に応じて前記広告情報の広告主に広告費を請求することができるとともに、受信回数に応じて送信者に特典を提供できる。

【0009】具体的には、選択ステップは、請求項3に記載の発明のように、前記通信端末が、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記複数の広告情報を要求する要求信号を前記サーバーに送信する要求ステップ(100)と、前記サーバーが前記要求信号を受信して、前記通信端末に前記複数の広告情報を送信する広告送信ステップ(200)とを有し、前記通信端末が、前記複数の広告情報を受信して、前記送信者による前記操作部への操作に応じて、前記複数の広告情報のうち1つを選択するようにしてもよい。ここで、請求項4に記載の発明のように、前記サーバーが、前記宛先を計数してこの宛先数に応じて広告費を前記広告情報の広告主に請求するとともに、前記宛先数に応じて特典を前記送信者に提供する提供ステップ(250、280～300)とを有するようにしてもよい。このように、宛先数に応じて広告費が前記広告情報の広告主に請求されるため、広告費は信頼性の高いものになる。さらに、前記宛先数に応じて特典が前記送信者に提供するため、前記送信者において、数多くの宛先にメールを送信する意欲を向上させることができ、一層、良好な広告を行うことができるようになる。

【0010】因みに、上記各手段の括弧内の符号は、後述する一実施形態に記載の具体的手段との対応関係を示す一例である。

【0011】

【発明の実施の形態】(第1実施形態)図1に本発明に係る通信システムの一実施形態を示す。図1は、通信シ

ステムの概略構成を示す図である。通信システムは、サービス提供サーバー10、インターネット(ネットワーク)20、ゲートウェイサーバー30、基地局40、携帯電話50、及びパーソナルコンピュータ70構成されている。

【0012】図1に示すサービス提供サーバー10は、インターネット20に接続されたものであって、後述する如く、メール等のコンテンツを提供する。ゲートウェイ(変換)サーバー30は、インターネット20における通信プロトコル(及び記述言語)と携帯電話50の通信網(通信事業者の)の通信プロトコル(及び記述言語)とを互いに変換する。これにより、ゲートウェイサーバー30は、通信事業者の通信網とインターネット20との間における通信を可能にする。基地局40は、通信事業者の通信網(ネットワーク)の一部であって、携帯電話50に対して無線通信を行う。また、パーソナルコンピュータ70は、ブラウザプログラムを実行可能なもので、インターネット20に接続されていることにより、サービス提供サーバー10と通信可能になっている。

【0013】次に、携帯電話50の詳細について図1に基づいて説明する。携帯電話(携帯通信端末)50は、図1に示すように、直方形のケース51、液晶パネル(表示パネル)52、及び、キー操作部53を有する。液晶パネル52は、ケース51の正面51a側に配設されている。キー操作部53は、テンキー、確定キー、選択キー等の各種キーを有するもので、ケース51の正面51a側に配設されている。

【0014】次に、携帯電話50の電気回路構成について図2に基づいて説明する。図2は、携帯電話50の電気回路構成を示すブロック図である。図2に示すように、携帯電話50は、アンテナ55、無線部56、音声処理部57、マイク58、スピーカ59、メモリ60、及び、制御部61を有する。無線部56は、制御部61の制御によって、送信信号をアンテナ55から出力させる一方、アンテナ55での受信信号を受信する。音声処理部57は、制御部61の制御によって、送話信号を送信信号に変換する一方、受信信号を受話信号に変換する。マイク58は、利用者の送話を送話信号に変換し音声処理部57に出力し、スピーカ59は、音声処理部57からの受話信号を受話に変換する。メモリ60は、ブラウザプログラム等の、各種データとを保持し、制御部61は、マイクロコンピュータ等から構成されたもので、メール作成送信処理等を行う。

【0015】ここで、本実施形態での作動の説明に先立って、図3を参照して、本実施形態の概略説明を行う。ユーザー1は、携帯電話50によって、メールの内容を作成送信するとともに、メールに付加する広告情報を選択してその選択された広告情報をサービス提供サーバー10に指定する。サービス提供サーバー10は、送信

されたメールの内容をWEBページ形式で保存するとともに、当該メールに対応するURL (uniform resource Locator) をユーザー(閲覧者)2のパーソナルコンピュータ70に通知する。

【0016】ユーザー(閲覧者)2は、パーソナルコンピュータ70によって、上記URLを指定してサービス提供サーバー10にアクセスする。これにより、ユーザー(閲覧者)2は、パーソナルコンピュータ70にて、広告付画像付メールを閲覧できる。ここで、サービス提供サーバー10は、ユーザー(閲覧者)2のパーソナルコンピュータ70からのアクセス回数をカウントする。サービス提供サーバー10を運営するコンテンツプロバイダー90は、広告主80と契約で、ユーザー1からのメールに広告主の広告情報を付加する一方、コンテンツプロバイダー90は、上記アクセス回数のカウント値を広告主80に報告することにより広告費を請求する。そして、広告主80は、契約に応じた契約期日毎に、上記アクセス回数のカウント値に応じた広告費を支払う。

【0017】次に、本実施形態の詳細な作動を図4、図5を参照して説明する。サービス提供サーバー10、携帯電話50、パーソナルコンピュータ70は、図4に示すフローチャートに従って、処理を実行する。

【0018】まず、携帯電話50の制御部61は、ブラウザの実行中に、ユーザー1によるキー操作部53への操作によって、メール作成のためのURLを指定して、基地局40を通して、ゲートウェイサーバー30及びインターネット20を経て、サービス提供サーバー10にアクセスする(ステップ100)。これにより、携帯電話50は、複数の広告付画像を要求する要求信号をサービス提供サーバー10に送信することになる。すると、サービス提供サーバー10は、当該アクセスを受け、第1～第3の広告付画像をインターネット20を通してゲートウェイサーバー30及び基地局40を経て携帯電話50に送信する(ステップ210)。

【0019】次に、携帯電話50の制御部61は、ブラウザの実行中に、アンテナ55を通して無線部56を経て第1～第3の広告付画像を受信すると、液晶パネル52にて、図5(a)に示すように、第1～第3の広告付画像のうち第1の広告付画像を表示させる。ここで、携帯電話50の制御部61は、ユーザー1によるキー操作部53の下向きキーの押下によって、液晶パネル52にて、第2の広告付画像を表示させる一方、更に、キー操作部53の下向きキーを押下されると、液晶パネル52にて、第3の広告付画像を表示させる。

【0020】このように、携帯電話50の制御部61では、ブラウザの実行中に、第1～第3の広告付画像のうち所望の広告付画像を液晶パネル52に表示させているとき、ユーザー1によってキー操作部53の確定キー「S」が押下されると、所望の広告付画像が選択されることになる。これに加えて、携帯電話50の制御部61

は、ブラウザの実行中に、上記選択された所望の広告付画像の識別番号を、基地局40を通して、ゲートウェイサーバー30及びインターネット20を経て、サービス提供サーバー10に送信する。すると、サービス提供サーバー10は、上記選択された所望の広告付画像の識別番号(選択結果)を受け、この識別番号に対応する広告付画像を記憶する。以下、上記選択された所望の広告付画像として、図5(a)に示す広告付画像が選択された例につき説明する。

【0021】すなわち、携帯電話50の制御部61においては、ブラウザの実行中に、液晶パネル52にて、図5(d)に示すように、図5(a)に示す広告付画像の下側にカーソル52が表示されることにより、ユーザー1によるキー操作部53への操作によって文字入力が可能となる。すなわち、携帯電話50の制御部61においては、ブラウザの実行中に、広告付画像を有するレイアウト内に、送信文章を入力可能な状態になる。そして、ユーザー1によるキー操作部53への操作により文字入力されることにより、送信文章が作成される。その後、ユーザー1によってキー操作部53の確定キー「S」が押下されると(ステップ120)、上記作成された送信文章(送信内容)は、基地局40を通して、ゲートウェイサーバー30及びインターネット20を経て、サービス提供サーバー10に送信される。すると、サービス提供サーバー10は、上記作成された送信文章を保存する(ステップ220)。

【0022】その後、携帯電話50の制御部61においては、ブラウザの実行中に、宛先のメールアドレスをユーザー1に入力させるための処理を行う。具体的には、携帯電話50の制御部61は、ブラウザの実行中に、液晶パネル52にて、図6(a)に示すように表示させる。ここで、ユーザー1によるキー操作部53への操作により、宛先1～宛先4のメールアドレスとユーザー1のメールアドレスとが入力され、キー操作部53の確定キー「S」が押下されると(ステップ130)、入力された宛先1～宛先4とユーザー1との各メールアドレスが、基地局40を通してゲートウェイサーバー30及びインターネット20を経てサービス提供サーバー10に送信される。

【0023】すると、サービス提供サーバー10は、上記各メールアドレスを受信して、宛先1～宛先4の各々に、図6(b)に示すように、「ユーザー1からの受信メールがあります。下記のURLにアクセスしてください」といった内容のメールをインターネット20を通して送信する。なお、当該URLは、サービス提供サーバー10において、ユーザー2だけがアクセスしてメールを閲覧するためのURLである。

【0024】次に、パーソナルコンピュータ70は、メールの実行中に、ユーザー2(閲覧者)によるキーボード72への操作によって、メールを閲覧するためのU

URLを指定することにより、メーラーとブラウザとが連動し、そのURLを指定して、インターネット20を経て、サービス提供サーバー10にアクセスする(ステップ260)。すなわち、パーソナルコンピュータ70は、メールの閲覧を要求する閲覧要求信号をサービス提供サーバー10に送信することになる。

【0025】次に、サービス提供サーバー10は、ユーザー1に選択された広告付画像とユーザー1による作成文章との双方を、広告付画像付メールとして、インターネット20を経てパーソナルコンピュータ70に送信する。すると、パーソナルコンピュータ70は、ブラウザの実行中に、広告付画像付メールを受け、その広告付画像付メールを液晶パネル71に表示させる(ステップ410)。これにより、ユーザー2は、図5(d)に示す広告付画像付メールを閲覧することができ、広告付画像を有するレイアウト内の送信文章を読むことができる。

【0026】次に、サービス提供サーバー10は、上記選択された広告付画像の使用数を、その広告画像の広告主毎に、カウントしてカウンタ値(以下、使用カウント値という)を求める(ステップ240)。さらに、メールの送信者(ユーザー1)毎に、メールの宛先の数のカウントしてそのカウンタ値(以下、宛先カウント値という)を求める(ステップ250)。

【0027】次に、サービス提供サーバー10は、メールを閲覧するためにアクセスされた広告付画像付メールの広告付画像をその広告主毎にそのアクセス回数(閲覧数)をカウントしそのカウンタ値(以下、閲覧カウント値という)を求める(ステップ270)。更に、サービス提供サーバー10は、メールを閲覧するためのアクセス数を、メール送信者毎にカウントしてそのカウンタ値(以下、アクセスカウント値という)を求める(ステップ280)。

【0028】次に、サービス提供サーバー10は、契約期日(例えば、一ヶ月)毎にて、メールの送信者(ユーザー1)に対して、特典提供情報を提供する(ステップ290)。具体的には、サービス提供サーバー10は、メールの送信者(ユーザー1)毎に、契約期日の間における上記宛先カウント値と、契約期日の間におけるアクセスカウント値との比率を求めるとともに、この比率によって特典を求め、更に、この特典を示す特典提供情報を、インターネット20を通してゲートウェイサーバー30及び基地局40を経て携帯電話50に送信する(ステップ290)。すると、携帯電話50の制御部61は、ブラウザの実行中に、アンテナ55を通して無線部56を経て特典提供情報を受信すると、液晶パネル52にて、図6(c)に示す表示をさせる。この表示は、割引券や商品交換券の役割を果たすことができる。

【0029】次に、サービス提供サーバー10は、契約期日(例えば、一ヶ月)毎にて、広告主70のコンピュータにインターネット20を通して広告費の請求を行う

(ステップ300)。具体的には、サービス提供サーバー10は、契約期日の間における使用カウント値と契約期日の間における閲覧カウント値との比率を求めるとともに、その比率によって広告費を求め、その請求を行うことになる。

【0030】以下、本実施形態の特徴を述べる。すなわち、メールの送信者(ユーザー1)により広告画像を選択する事ができるため、宛先(閲覧者)に適した広告画像を選択することができる。従って、宛先である閲覧者に対して良好な広告を行うことができる。これに加えて、送信者は、上述の如く、広告画像を選択する際に、必然的に、広告画像を閲覧することになるため、送信者に対しても広告を行うことができる。

【0031】さらに、広告費の請求としては、閲覧者がメールを閲覧するためにサービス提供サーバー10にアクセスする回数(閲覧カウント値)と、上記選択された広告付画像の使用数(使用カウント値)との比率によって決められているため、広告費の請求額としては信頼性の高いものになる。これと同様に、メールの送信者に対する特典においても、閲覧者がメールを閲覧するためにサービス提供サーバー10にアクセスする回数(アクセスカウント値)とメールの宛先の数のカウンタ値(宛先カウント値)との比率によって決められるため、特典の値としても、信頼性の高いものになる。

【0032】また、メールの送信者において、アクセスカウント値と宛先カウント値との比率にとって特典が得られるため、数多くの宛先にメールを送信する意欲の向上を図ることができる。さらに、特典は、アクセスカウント値と宛先カウント値との比率によって決まるため、送信者に対して、宛先である受信者を考慮して広告画像を選択する意欲を向上させることができる。従って、一層、良好な広告を行うことができるようになる。

【0033】なお、本発明の実施にあたり、広告費の請求としては、閲覧者がメールを閲覧するためにサービス提供サーバー10にアクセスする回数(閲覧カウント値)によって決めるようにしてもよく、同様に、メールの送信者への特典は、閲覧者がメールを閲覧するためにサービス提供サーバー10にアクセスする回数(アクセスカウント値)に応じて決めるようにしてもよい。

【0034】さらに、アクセスカウント値、宛先カウント値、閲覧カウント値、及び、使用カウント値のうち何れかにおいて、メール送信者の数も含めるようにしてもよい。さらに、アクセスカウント値、宛先カウント値、閲覧カウント値、及び、使用カウント値のうち何れかをいれれば、広告画像に対する利用者の好みを調べるためのマーケットリサーチを行うことができる。

【0035】なお、上記実施形態では、パーソナルコンピュータ70は、ブラウザの実行中に、広告付画像付メールを受け、その広告付画像付メールを液晶パネル71に表示させるシステム例について説明したが、これに限

らず、パーソナルコンピュータ70は、メーラー（UM A：ユーザーメールアプリケーション）の実行中に、広告付画像付メールを受け、その広告付画像付メールを液晶パネル71に表示させるシステムを適用してもよい。

【0036】例えば、携帯電話50の制御部61は、メーラーの実行中に、ユーザー1によるキー操作部53への操作に応じて、複数の広告情報のうち1つを選択し、その結果を示す選択情報とメールの送信内容と宛先とを、基地局40を通して、ゲートウェイサーバ30及びインターネット20を経て、サービス提供サーバ10に送信する。そして、サービス提供サーバ10（メールサーバ）が、前記選択情報と前記メールの送信内容と前記宛先とを受信し、前記選択された広告情報が付加された前記送信内容を前記メールとしてパーソナルコンピュータ70（宛先）に送信する。そして、パーソナルコンピュータ70は、メーラーの実行中に、広告付画像付メールを受け、その広告付画像付メールを液晶パネル71に表示させる。これにより、ユーザー2は、パーソナルコンピュータ70によって、広告付画像付メールを閲覧できる。

【0037】なお、上記実施形態では、第1～第3の広告付画像のうち所望の広告付画像が選択され、この選択された所望の広告付画像の識別番号をサービス提供サーバ10に送信する例について説明したが、これに限ら

ず、上記選択された所望の広告付画像の画像データをサービス提供サーバ10に送信するしてもよい。

【0038】さらに、上記実施形態では、ユーザー1（送信者）が携帯電話50を使用して、ユーザー2（閲覧者）がパーソナルコンピュータ70を使用した例について説明したが、これに限らず、ユーザー1、2は、各々、PHS、PDA、パーソナルコンピュータ等の各種通信機器を用いるようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態における通信システムの構成を示す図である。

【図2】図1に示す携帯電話の電気回路構成を示すブロック図である。

【図3】上記一実施形態の概略の作動を説明するための図である。

【図4】上記一実施形態における作動を示すフローチャートである。

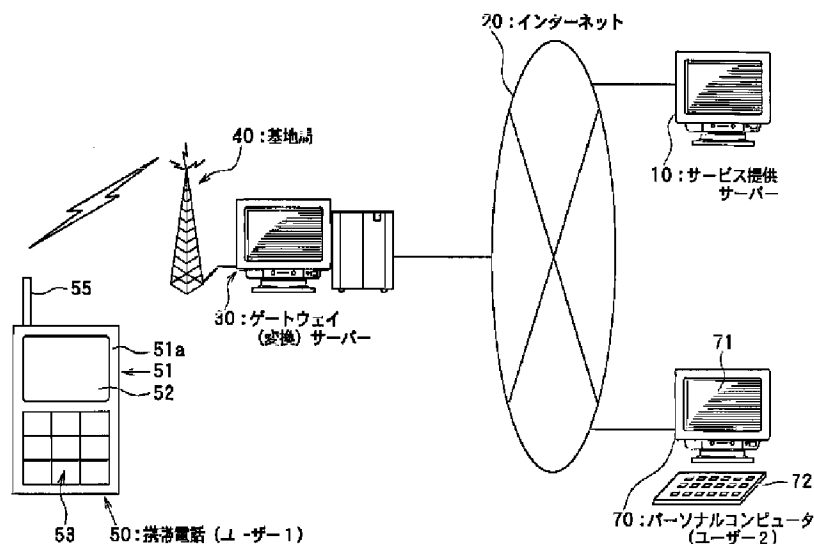
【図5】上記第一実施形態における携帯電話の表示を示す図である。

【図6】上記第一実施形態における携帯電話の表示を示す図である。

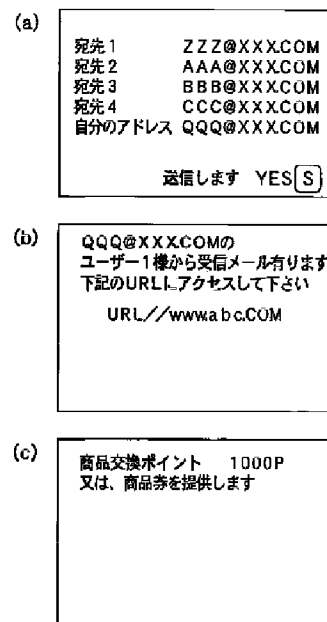
【符号の説明】

1、2…ユーザー、10…サービス提供サーバ、50…携帯電話、70…パーソナルコンピュータ。

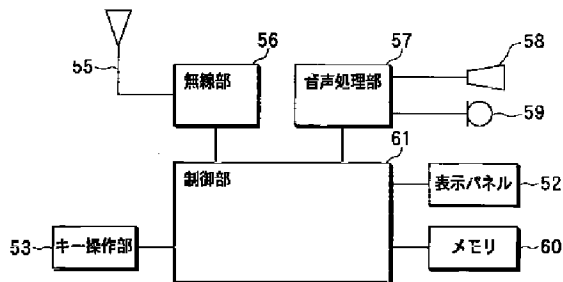
【図1】



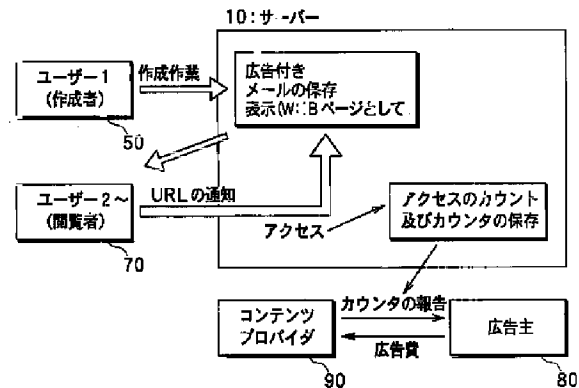
【図6】



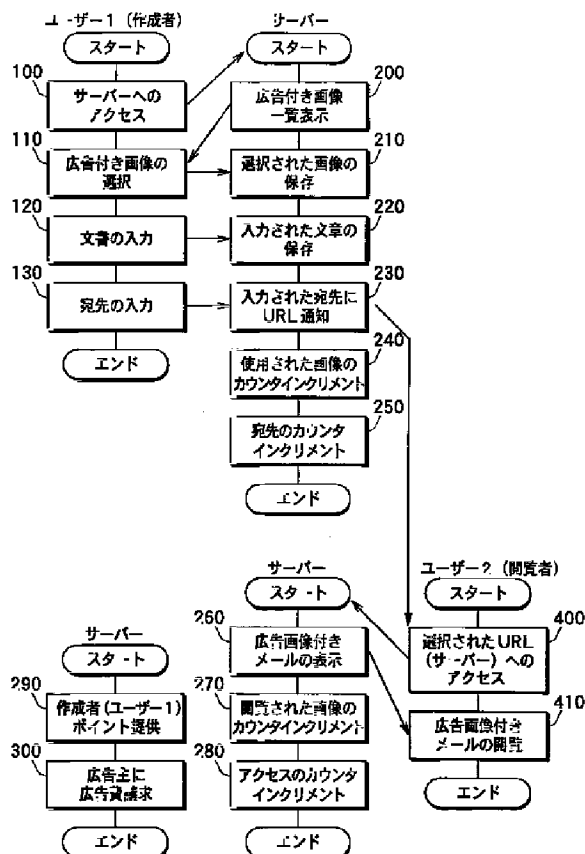
【図2】



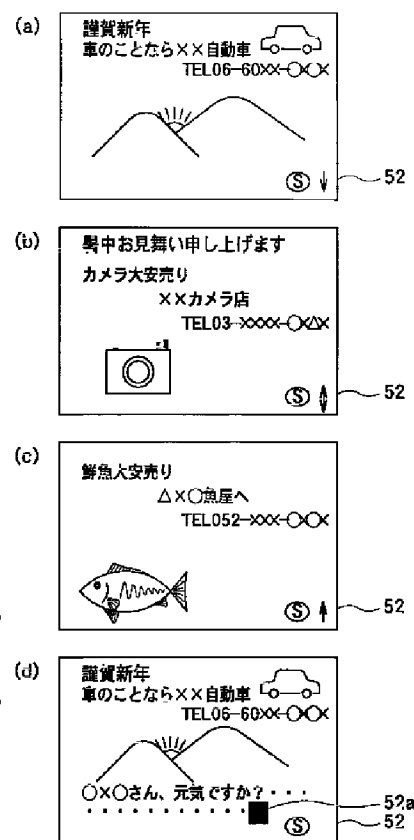
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷
G 0 6 F 17/60
H 0 4 Q 7/38
H 0 4 L 12/54

識別記号
5 0 6

F I
G 0 6 F 17/60
H 0 4 B 7/26
H 0 4 L 11/20

(参考)

5 0 6
1 0 9 M
1 0 1 B

!(8) 002-140272 (P2002-140272A)

12/58

H04Q 7/04

D